

水のためにくずれてしまったこともありましたが、豊助はくじけませんでした。



➡ 水路のはばを広げ、深くほる工事のようす

- この工事で、特にたいへんだったのは、飯盛山の洞門ほりでした。豊助は、地形や地質を調べ、土地の高さを何度もはかり、地図を何まいも書きました。
- じしゃくで方向をたしかめながら、くわやもっこ、石のみなどを使って、わりあいやわらかい岩をほりすすみました。暗い洞門の中は菜種油なたねあぶらをもやして明るくしました。
- 3年間、のべ55,000人の人手をかけた戸ノ口なごぜきを直す大工事は、こうして終わりました。



➡ 飯盛山の洞門ほり